



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月6日

上場会社名 株式会社エムジーホーム 上場取引所 東・名  
 コード番号 8891 URL http://www.mghome.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)辻本 正人  
 問合せ先責任者 (役職名)管理部長 (氏名)林 邦彦 (TEL)052(212)5110  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	894	—	△62	—	△61	—	△59	—
27年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 一百万円(—%) 28年3月期第1四半期 △60百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△20.58	—
27年3月期第1四半期	—	—

(注) 27年3月期第1四半期は連結財務諸表を作成していないため、前期の数値及びこれに係る対増減率については、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	3,791	1,401	36.9
27年3月期	4,396	1,472	33.5

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 1,401 百万円 27年3月期 1,472 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,900	—	70	—	65	—	45	—	15.48
通期	5,600	—	200	—	190	—	135	—	46.45

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は平成26年10月1日より連結財務諸表を作成しているため、対前年同四半期増減率及び対前期増減率は記載していません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無  
 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
     ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
     ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
     ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
     ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年3月期1Q	2,906,048株	27年3月期	2,906,048株
28年3月期1Q	—株	27年3月期	—株
28年3月期1Q	2,906,048株	27年3月期1Q	1,763,534株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ①全般の業績概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の景気対策等の効果もあり緩やかな景気回復基調で推移いたしました。一方個人消費につきましては消費税増税以降先行き不透明な状況が続いております。

この様な経済状況のもとで、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高894百万円、営業損失62百万円、経常損失61百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失59百万円となりました。

#### ②事業の種類別セグメントの業績概要

##### (分譲マンション事業)

マンション業界は、建築資材及び工事労務費の高止まり、プロジェクト用地の仕入価格の高騰の影響及び消費税増税の影響を受け、販売価格が高騰しているなか、一般消費者の購入マインドは大きな回復を見せず、厳しい環境が継続しております。

そのような環境下、前期より繰越した完成在庫及び9月に完成する新築マンション1棟を販売し、当第1四半期末までに39戸を契約し、うち19戸の売上を計上いたしました。

この結果、売上高471百万円、セグメント利益（営業利益）は21百万円となっております。

##### (注文住宅事業)

注文住宅事業につきましては、新築2棟の引渡しを行っております。また、引渡し済み物件を含め、5件の工事について工事完成基準に基づき、売上を計上いたしました。

以上より、売上高319百万円、セグメント損失（営業損失）は37万円となっております。

##### (賃貸事業)

賃貸住宅事業につきましては、当社にて17戸のマンション、株式会社アーキッシュギャラリーにおいて5戸のマンションと1棟の戸建及び借地1筆を事業に供しております。

その結果、売上高12百万円、セグメント利益（営業利益）は6百万円となっております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産

流動資産は2,148百万円となりました。主な内訳は、現金および預金396百万円、販売用及び仕掛販売用不動産1,624百万円であります。

固定資産は1,637百万円となりました。主な内訳は、建物及び構築物498百万円、土地655百万円、のれん296百万円であります。

#### ②負債

流動負債は、1,705百万円となりました。主な内訳は、買掛金148百万円、短期借入金564百万円、1年内返済予定の長期借入金474百万円であります。

固定負債は、684百万円となりました。主な内訳は、長期借入金541百万円であります。

#### ③純資産

純資産は、1,401百万円となりました。主な内訳は資本金1,168百万円であります。

なお、前第2四半期連結累計期間より連結財務諸表を作成しておりますので、前第1四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月7日の「平成27年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	593,116	396,390
売掛金	55,296	17,179
販売用不動産	1,340,632	894,268
仕掛販売用不動産	696,959	730,479
原材料及び貯蔵品	2,334	2,948
繰延税金資産	15,440	18,122
その他	38,298	89,344
流動資産合計	2,742,079	2,148,733
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	818,299	818,299
土地	655,200	655,200
その他	93,541	93,270
減価償却累計額	△362,398	△367,025
有形固定資産合計	1,204,642	1,199,745
無形固定資産		
のれん	300,400	296,549
その他	3,917	3,898
無形固定資産合計	304,317	300,448
投資その他の資産	139,853	137,066
固定資産合計	1,648,813	1,637,260
繰延資産	5,639	5,181
資産合計	4,396,532	3,791,175
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	883,673	148,163
1年内償還予定の社債	14,000	14,000
短期借入金	404,000	564,117
1年内返済予定の長期借入金	305,952	474,952
前受金	405,981	397,437
その他	95,428	107,260
流動負債合計	2,109,035	1,705,931
固定負債		
社債	65,000	65,000
長期借入金	670,778	541,540
繰延税金負債	7,095	7,340
退職給付に係る負債	54,831	52,767
その他	17,756	17,474
固定負債合計	815,461	684,123
負債合計	2,924,496	2,390,054

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,168,021	1,168,021
資本剰余金	165,791	165,791
利益剰余金	133,055	61,621
株主資本合計	1,466,869	1,395,435
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,166	5,685
純資産合計	1,472,035	1,401,120
負債純資産合計	4,396,532	3,791,175

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	894,276
売上原価	782,835
売上総利益	111,441
販売費及び一般管理費	
役員報酬	10,454
給料及び手当	59,031
その他の人件費	14,054
減価償却費	1,507
租税公課	5,906
広告宣伝費	19,266
賃借料	11,046
その他	53,166
販売費及び一般管理費合計	174,432
営業損失(△)	△62,991
営業外収益	
受取配当金	1,158
雑収入	5,313
その他	344
営業外収益合計	6,815
営業外費用	
支払利息	4,929
その他	696
営業外費用合計	5,626
経常損失(△)	△61,802
特別利益	—
特別損失	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△61,802
法人税、住民税及び事業税	591
法人税等調整額	△2,584
法人税等合計	△1,993
四半期純損失(△)	△59,809
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△59,809



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)
	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純損失(△)	△59,809
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△519
その他の包括利益合計	△60,329
四半期包括利益	△60,329
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△60,329
非支配株主に係る四半期包括利益	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	分譲マンション事業	注文建築事業	賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	471,486	319,001	12,437	802,925	91,350	894,276
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	471,486	319,001	12,437	802,925	91,350	894,276
セグメント利益 又は損失(△)	21,075	△378	6,236	26,933	1,149	28,083

## 2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	26,933
「その他」の区分の利益	1,149
全社費用(注)	△91,075
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△62,991

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

(株式の取得について)

当社は、平成27年7月22日開催の取締役会において、エムジー総合サービス株式会社（以下「総合サービス」という。）の発行済み株式の80%を取得し、当社の子会社とすることを目的とした株式譲渡契約を締結することを決議しました。

企業結合の概要

①被取得企業の名称及びその事業内容

被取得企業の名称	エムジー総合サービス株式会社
事業内容	分譲マンション管理事業

②企業結合の目的

当社は、昨年VTホールディングス株式会社（以下「VT」という。）による第三者割当増資引受、及びVTの子会社である株式会社アーキッシュギャラリーとの株式交換を経て、VTグループの住宅関連事業を担い、新築マンションの分譲及び注文住宅事業を行う総合住宅事業として、ビジネスモデルの多角化に取り組んでおります。

マンション開発に加えて戸建住宅の設計・建築を行うことは、顧客層の拡大につながり、また先行投資型の事業リスクを分散する効果がありますが、住宅着工件数は景気に敏感な指標であり、一般的に住宅事業の受注動向は経済情勢に左右されやすい傾向があります。そうした中で、マンション管理事業は、景気の波の影響を受けにくい安定型の事業であり、当社はこうした事業をグループ内に取り組むことで、連結収益の安定的な拡大に寄与できるものと考えました。

そこでこの度、当社の開発・販売したマンションを中心に管理事業を行ってきた総合サービスを子会社化し、マンション開発・販売に加えて、マンションの管理業務をグループ内に取り組むことで、安定した業績と今後の成長基盤の強化を目指すことといたしました。

③取得した議決権比率

議決権所有割合80%（取得株式数160株）

④株式取得の時期

平成27年8月1日